

# 石楠花会通信 Vol.79 (2021. 3)

令和3年も早や三月が過ぎようとしておりますが石楠花会会員、会友の皆様お元気でいらっしゃいますか？ 今回の石楠花会通信はコロナウイルス禍の中での体育会ワンダーフォーゲル部そして私たち石楠花会の令和2年度についてのご報告から参りたいと思います。

## □令和2年の体育会ワンダーフォーゲル部と石楠花会

令和2年度の体育会ワンダーフォーゲル部と当石楠花会はコロナウイルス禍のため事実上活動停止の一年となってしまいました。

前回の『石楠花会通信 Vol.78』でご報告の後、成蹊大学はコロナウイルス感染状況に対応して構内への立入りや部活動について許可と禁止の通達を交互に発出し、令和3年2月末現在授業はオンライン中心、部活動は感染拡大防止措置をとり申請を行ったクラブのみが公式戦、対外試合を許可されているという状況です。ワンダーフォーゲル部では昨年7月に、3年三川君(前年度主将)が部活動再開を目指し感染対策マニュアル作成などを大学学生部に相談、残念ながらその時点では宿泊を伴う山岳活動は「密」を避けることができないと再開を断念しました。その後11月に入り、2年生部員が中心となり部活動再開の申請を再度提出した結果、対策マニュアルの作成、事前オンラインミーティングの実施、顧問教授の承認などの条件付きで許可され、ようやく6名の1年新入部員を引き連れての今年度初の奥多摩への新人歓迎山行が行われました。ただ残念なことに今年彼らはOBOGとのコミュニケーションの機会もなく、3、4年生から安全対策への準備やリーダーシップなど基本的な心構えについて十分な引継ぎも行われなかったため、部活動再開第一回目の山行は多くの問題を残す結果となってしまいました。

他方、石楠花会も大学、成蹊会の決定に従い昨年4月の『桜祭 OGOB 現役交歓会・総会』を中止。以降6月『虹芝寮 OGOB 現役山行』、1月『OGO B 現役交歓会』などすべての行事を中止せざるを得ませんでした。ただ、大学学生部や体育会 OBOG 会長連絡協議会とはメールでの連絡を取合い、大学、成蹊会やワンダーフォーゲル部の状況をできるだけ把握し、現役部員とのコミュニケーションを何とか維持してきました。例年交歓会で現役の活動報告を聞きながら贈呈する現役活動支援金については、今年度は新入部員の登山装備費用補填として1月末に100,000円を振込みました。また成蹊学園資料館からの依頼に応え花上会長、松田さん所蔵の、発行されなくなって久しいワンダーフォーゲル部文集『石楠花』『体育会ワンダーフォーゲル部創部50周年記念誌・石楠花』の寄贈を行いました。そして令和3年度現役部員の活動への助言のため75年次井上監督、現役部員、石楠花会幹事が参加してのミーティングを1月7日 ZOOM を利用して行いました。

## □令和3年度の体育会ワンダーフォーゲル部

1月のミーティングでは現役部員の状況の確認と山行の安全配慮や遭難対策の重要性についてなど井上監督より現役部員へ助言を行いました。また新執行部改選、年間活動計画の立案については卒業間近の久保田くん(元主将・現4年)に卒業後も含めフォローしてほしい旨依頼しました。その結果令和3年度体育会ワンダーフォーゲル部の新体制と年間活動計画が以下の通り決定しました。

## 【令和3年度体育会ワンダーフォーゲル部執行部】

主将：三橋 瑛（理工学部・2年） 主務：有水聡史（経済学部・2年） 会計：涌井 光（経済学部・2年）

【令和3年度ワンダーフォーゲル部活動予定表】 令和3年2月時点\*予定は変更する可能性があります。

4月合宿 大山 \*新入生歓迎会等は未定

5月合宿 金峰山

6月合宿 雲取山 1泊2日

虹芝寮整備 虹芝寮

7月合宿 仙丈ヶ岳 1泊2日

8月プレ合宿 荒川三山縦走3泊4日または富士山1泊2日

本合宿 剣-立山縦走3泊4日（2018年度と同様）または雲ノ平・黒部源流縦走3泊4日

9月 慰安旅行伊豆大島 1泊2日 テント泊

10月合宿 蛭ヶ岳 1泊2日

11月虹芝寮整備 虹芝寮

3月 春合宿 未定

体育会ワンダーフォーゲル部は現在部員15名（現3年4名・現2年5名・現1年6名）。4月にはまた新入部員が入部してきます。三橋君以下の新執行部にはコロナ禍に負けず山や自然への思いを熱く、強く持ち、10名を超える下級生部員のモチベーションを維持しつつ、安全で快適な山登りができる日が来ることを期待したいと思います。

また長年顧問教授をお願いしておりました法学部大町先生のご退職に伴い、後任の顧問教授を小田先生（経済学部長）にお引き受け頂くことが決定いたしました。小田先生は成蹊高校のご出身で、いつもお世話になっている学生部熊崎氏（踏高会）の4年後輩で、登山の経験はあまりないため、尻込みをなさっていたそうですが、熊崎氏が強力にフォローすることでご了承いただき、石楠花会では4月に入り花上会長がご挨拶にお伺いする予定です。

尚、令和3年度の石楠花会はコロナウイルス禍の状況次第で、成蹊大学、成蹊会、体育会 OBOG 連絡協議会の決定を踏まえ、総会、交歓会などの開催を検討したいと考えています。それまでは ZOOM を利用して現役部員との定期的ミーティングを行うなど、新しいコミュニケーションの方法を模索したいと思います。

## □令和3年度主将ご挨拶

はじめまして。今年度のワンダーフォーゲル部主将になりました理工学部システムデザイン学科 2年三橋瑛と申します。私は大学から本格的な登山を始めたのですが、この部活動では経験にとらわれず皆で協力しあって頂上を目指すこの活動を本当に楽しいと感じています。この楽しいを実現できるよう主将として努力していく所存です。

昨年度のワンダーフォーゲル部としての活動はコロナ渦で思うようにはできませんでした。現一年生との交流も多くはなく、私個人としても主将としてやっていけるか不安であります。だからこそ私は周りに頼ろうと考えています。私は主将とはいえ正直、歴代主将のように経験が豊富であったりやリーダーシップが特別あるわけではないです。それでも入部時から共に登山をしてきた同学年の部員との関わりは強く、私の手に届かな

いことにも率先して対応してくれるなど彼らは不安な私を助けてくれました。本当に感謝しています。私はこの一年間で部全体での部員同士のこのような関わり、結束を強くしたいと考えております。それが主将になった私の目標でもあります。

何より部員同士の結束は登山での集団行動での安全性において非常に大切です。ワンダーフォーゲル部の活動は他の体育会の部活と比べて命にかかわる活動です。そのリスク回避には円滑なコミュニケーションが必要なのです。これを実現するには部員同士が上下関係を憚らず、お互いが登山をして楽しいと感じることが大切だと考えています。初めに申し上げたように私は本当にこの活動を楽しんでいると思っています。私だけでなく、登山をする全員が同じように思えるように尽力していきたいと思えます。

また今年度は周りに頼るとした以上顧問、OBOG、先輩らの方々にも協力を頼むことが増えるでしょう。例年OBOG、顧問の方々には虹芝寮整備、支援金、合宿の実現性の評価など様々なことでお世話になっております。改めて感謝いたします。ありがとうございます。一方で私たち現二年生は昨年度の活動が行えなかった分歴代の方々とは比べ、経験が浅いと言わざるを得ません。そのため安全面を徹底して活動していきたいと考えています。そのお手伝いをお願いすることがあるかと思われまます。どうかその時には力を貸していただけるとありがたいです。また私事ではありますが成蹊大学歩く会の方、趣味のボルダリングで知り合った方々など様々なところで助けをいただきました。彼らにも感謝とともにこれからも頼らせていただきたいと思えます。

私は主将としての責任感はもちろん、登山をする上で仲間の命を預かることを考えなくてはなりません。それを踏まえて安全であることを維持するのが主将としての役目であります。このことを常に念頭に置いて日々精進してまいりたいと思う次第であります。

## □石楠花会会費・寄付金払い込みのお願い

石楠花会会費は年間3,000円です。石楠花会会費は現役学生の活動支援、万一の遭難対策、そして石楠花会を円滑に維持運営する為に不可欠な資金です。令和2年度はコロナウイルス禍のため定例行事を開催できず、皆様からの会費収入が例年になく少なく、現役の部活動再開後の遭難対策準備費としては極めて危うい状況です。これからのコロナウイルス禍後に、向後の憂いなく活発な部活動を行ってもらうためにも、皆様のご協力を何卒お願い申し上げます。

会費の払い込みは同封の払い込み用紙により『日本郵政』または『三菱UFJ銀行』口座経由にてお願いいたします。尚、複数年払いをご希望の方は5年分15,000円を上限としてお支払いが出来ます。それ以上の金額はご寄付として処理させていただきますので何とぞご了承ください。払い込みいただいた方、ご寄付を頂戴した方々の氏名は石楠花会通信紙上にてご報告しお礼に代えさせていただきます。

振込先:

【ゆうちょ銀行】口座番号「00120-4-358653」 加入者名『石楠花会』

【三菱UFJ銀行】西川口支店 普通口座 0610534 『石楠花会幹事 松田武雄』

## □訃報

75年次 高澤嘉宏さん 令和2年3月ご逝去なされました 謹んで哀悼の意を表します  
尚、石楠花会よりお悔やみのお花を送らせていただきました 合掌

## □虹芝寮の現在

08年次の西岡です。私は寮整備委員として虹芝寮の整備を行っており虹芝寮の現状について報告させていただきます。

現在一般利用に就きましては昨年4月より閉鎖が続いており解除の目途はまだ見えておりません。残念ではありますが一般利用は当面先ではないかと思えます。寮整備ですが昨年7月と9月に行われ、今年の2月には同じく最少人数での雪下ろしを行いました。整備に当たり「コロナ禍における寮整備マニュアル」を作成し、現地での徹底し予防対策を実施しております。また昨年11月に寮整備委員が土合山の家宿泊でなめこ採りを延べ5日間実施した際に、虹芝寮に立ち寄り換気を行っております。そのため年末の豪雪で潰れる事もなく、良好な状態を維持出来ております。しかし人の出入りが少ないため、換気が十分でなく布団・毛布が重くなっております。また昨年から寮の周りでも熊の痕跡が見られるようになりました。寮の外壁には熊の爪痕、周辺の木にも熊棚があります。一般利用が解除された際にも熊の生活圏が移動しない場合、対策が必要となると思えます。

現役部員のみなさんは活動を禁止されており、山行が出来ない状況だと思えます。貴重な4年間を無駄にしていると、非常にもどかしい気持ちだと思えます。山に関していえば、年齢がいくつになっても楽しむことが出来ます。私も社会人になってから虹芝寮を拠点として冬山登山や沢登を始めました。皆様が社会人になっても気軽に仲間と集える場を残せる様に、今後も寮整備を行って参ります。

現役のみなさん、OBの皆様、虹芝寮ファンの皆様、また虹芝寮で、そして山でお会い出来る事を楽しみにしております。

## □第43回成蹊桜祭開催中止に伴う石楠花会総会中止のお知らせ

2021年4月4日(日)開催予定としていた第43回成蹊桜祭は、コロナウイルスの感染状況等を踏まえ、成蹊会ならびに成蹊桜祭委員会にて検討した結果中止することとなりました。

成蹊会では桜祭中止となった中、感染症拡大の影響で、困難や寂しい思いをされている同窓、学生の皆様に少しでも明るく前向きな気持ちになっていただき、来年の桜祭に再び集えることを願うエール・ビデオを作成することを企画しています。また感染拡大の収束が前提となりますが、代替企画として卒業生が学園に集える「(仮称)成蹊ホーム カミングデー」開催の検討も予定しているそうです。

2年連続の中止は痛恨の極みですが、石楠花会総会、桜祭OGOB現役交歓会も中止となりますのでご了承ください。



## □ご挨拶

石楠花会の皆様お変わりございませんでしょうか。日頃は石楠花会の活動にご支援賜り御礼申し上げます。

さて昨年1月からの新型コロナウイルス感染は現在に至るまで止まるところ知りません。この影響で成蹊学園でも卒業式、入学式、全ての行事、授業中止、クラブ活動の中止、大学職員の在宅勤務など考えられない事態となっています。このような状況下で学生達は通学や集会禁止とオンライン授業という苦しい学生生活を送り、知人の子息も昨年成蹊に入学し、学校に行ったのは1週間足らずで友人は一人も出来ていないと悲しんでいました。我々の大学生活とは雲泥の差です。一日でも早くコロナウイルス禍が終息し、皆様が体験したような桜の下での入学式、櫻の新緑下での語らい、櫻祭の華やかさ、そして様々な山行での感動を学生たちが体験することを祈ってやみません。

そしてワンダーフォーゲル部ですが、大学、顧問教授などと折衝を行い、宿泊を伴う山岳活動は難しいが、部活動の許可は頂きました。また現役部員と井上監督とのミーティングで山行の安全や遭難対策、ワンゲルの在り方などの助言もしました。今のコロナ感染状況を鑑みてワンゲルの活動には制限がありますが、この困難の中現役部員15名とそして新入部員が加わり安全で楽しい部活動が出来ることを願い、令和3年度も我々は継続して応援していきたいと思えます。つきましては、彼らのためにも石楠花会の会費・寄付金の払い込みを是非宜しくお願い致します。コロナウイルス禍で会費の振込が大変に少なく「遭難対策準備金」として極めて心細い状態となっております。皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

桜祭での総会は中止となりましたが、今年度も例年通りの定例行事は予定したいと思います。コロナウイルスの状況次第ですが、一日も早く虹芝寮、櫻祭で皆さまとお会いするご案内を差し上げる日が来ることを楽しみにしております。最後になりましたが時節柄くれぐれもご自愛ください。

石楠花会会長 65年次 花上光治

## □令和元年度(2019年度)石楠花会活動報告

桜祭石楠花会総会 令和元年4月1日 OGOB28名・現役9名  
虹芝寮山行 令和元年6月8～9日 OGOB13名・現役8名  
新年交歓会 令和2年2月1日 OGOB16名・現役10名  
石楠花会通信 年間4回発行  
現役部員活動支援金 現役部員に対して100,000円  
年次会計報告 既報告の通り

## □令和2年度(2020年度)石楠花会活動報告

コロナウイルス禍の為定期行事はすべて中止となりました。

OB 現役ミーティング 令和3年1月7日 井上監督、千葉、現役三橋(19年次)、久保田(17年次)  
石楠花会通信 年間2回発行  
成蹊学園コロナ特別支援金 50,000円寄贈  
現役部員活動支援金 現役部員に対して100,000円  
年次会計報告 別紙参照  
成蹊学園資料館へ『創部50周年記念誌・石楠花』、文集『石楠花』バックナンバーの寄贈

## **□こんな時だからこそ石楠花会ウェブサイト！**

今年度は『石楠花会ウェブサイト』を経由してのご連絡やご報告をより定期的に、より頻繁に行っていきたいと思います。このサイトを皆さんのお力で賑やかなコミュニケーションの場にしていただければと思います。

皆さんからの情報や投稿をお待ち申し上げます。よろしくお願いいたします。

成蹊大学ワンダーフォーゲル部OB・OG会「石楠花会」：[syakunage.main.jp](http://syakunage.main.jp)

\*ご意見、提言、記事投稿はウェブサイト掲載記事の『コメント』欄にご記入の上送信してください。

## **□花は咲き、春はきっと来る**

今年の冬、北日本では例年のない豪雪に見舞われました。コロナ禍で息を潜めて生活する毎日、コミュニケーションを『密』として戒める世相の中での雪下ろしや雪掻き。さぞや辛い日々だっただろうと思います。

また今年はある東日本大震災から10年目の節目の年。日々の暮らしが元通りとはいかないけれど何とか落ち着いて、ほんの少しか春の気配が感じられるようになった先月13日の夜、東日本各地である日を思い出させるような最大震度6強の地震、コロナ禍に加えこれでもかこれでもかと神様が災禍を与えるかのような今年の冬。人はいくつもの重荷を背負って生きていくとは言え、一生懸命我慢してコロナ禍の終わりを待っているのに、なんでこんなにまだいくつもの重荷を背負わせるんだよ、、、涙が出ました。

でも、きっと花は咲きます。春は来ます。春の花は爆発するようにエネルギーで美しい。だから人は暗く冷たい冬をじっと我慢します。春への思いの強さは雪の深さや苦難の重さに比例するのではないのでしょうか。

そしてコロナウイルス。古今東西「ペスト」「スペイン風邪」さまざまな感染症が人類を襲ってきましたが、私たちはいまだかつて一度も感染症に敗れていません。

ある人は、人類がひたむきに耐え、考え、知恵を出し、懸命にペストを尽くし感染症に立ち向かったからこそ負けなかったのだと言います。そして何より明るい未来が待っていることを信じたからだ。私たち人類には危機を乗り越え未来を創造するパッション、情熱が胸の中に受け継がれているのだと。心に沁みました。

## **ガンバレ人類！ ガンバレ日本！ そしてガンバレワンゲル！！**

この新型コロナウイルス感染拡大の一日も早い終息を願うと共に、皆さまの安全とご健康を心よりお祈り申し上げます。併せて令和3年度の石楠花会並びに体育会ワンダーフォーゲル部を何卒よろしくお願い申し上げます。

74年次 千葉